

THE ROMAN BATHS BATH

ローマ大浴場のご案内

北部ヨーロッパにおける最も考古学的価値の高い発掘物のひとつとして知られるローマ大浴場。

ご鑑賞には1時間半ほどご予約ください。

皆様のおいでを心よりお待ちしております。

スタッフがいつでもご質問にお答えいたします。

英語の無料ガイドツアーは一時間毎の正時に大浴場 (Great Bath) から出発し、30～40分程度を要します。

ローマ大浴場には2つの売店があります。また、鑑賞後に18世紀のパンプ・ルームで軽食をお楽しみください。

入浴場のお湯は飲料水ではありません。パンプ・ルームに飲料用温泉水があります。

入場後の飲食、チューインガムおよび喫煙はご遠慮ください。

温泉水

バースにある3つの温泉のうち、約3000メートルの深さから湧き出ているローマ神聖泉 (Roman Sacred Spring) が最大の規模です。46.5℃の温泉水には43種の鉱物が含まれており、一日約125万リットルが湧出します。ローマ浴場 (Roman Baths) および神殿 (Temple) は同温泉を囲むようにして建造されました。

ローマ帝国時代の名残

バース (原名 : Aquae Sulis) にあるローマ温泉 (Roman spa)は、西暦43年のローマ軍による英国進攻後に建造が始まり、西暦75年には既に存在していたことが記録により明らかになっています。原名はケルト族の泉の女神スーリス (Sulis)に由来し、ローマ神話では女神ミネルヴァ (Minerva) にあたります。泉の北側の柱廊にはこの女神スーリス・ミネルヴァを奉る神殿が建てられ、また、南側には洗浄力や治癒力に富む数々の入浴場が造られました。この神聖な泉は2つの役割を果たし、女神スーリス・ミネルヴァに奉納および祈祷する場であるとともに、入浴場に温泉水を供給する貯水池でもありました。聖なる場であることから、泳ぐことは禁止されていました。

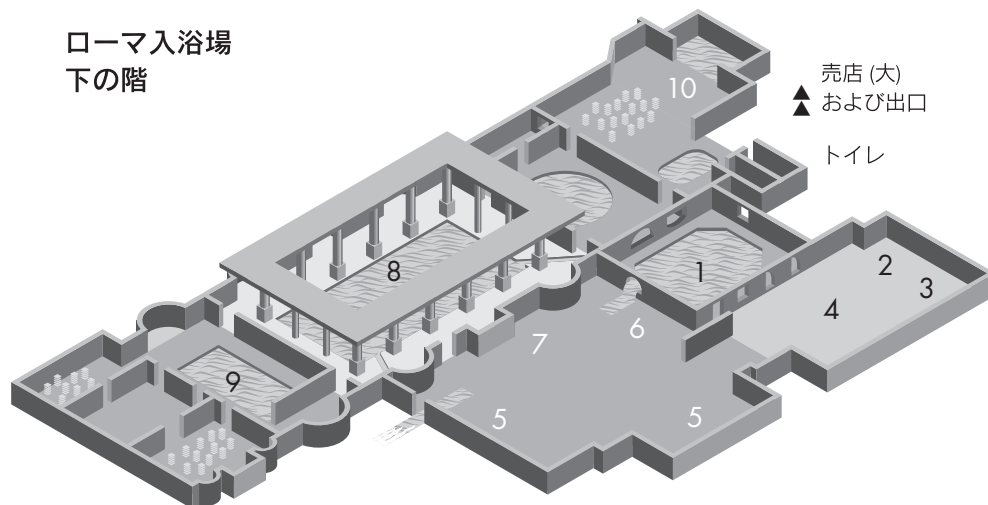
再発掘

この神殿はローマ軍退去後に異教徒の遺物として破壊され、入浴場は崩壊し埋没してしまいました。12世紀に入り、神聖泉があった場所に王の入浴場 (King's Bath) が建造され、治療用の入浴場や水泳プールとして使われるようになりました。18世紀には温泉水が飲料用としてもはやされ、そういった目的でパンプ・ルーム (Pump Room) が王の入浴場の隣に建てられました。18世紀初期にローマ入浴場の一部が発見されましたが、そのスケールの大きさについては知られるところではありませんでした。1880年代に更に発掘が進み、ローマ入浴場の広大さが明らかとなりました。

展示物

ローマン・ブリテン時代の著名な遺物がここに展示されています。特記に価するのは、元の神殿にあったゴルゴンの頭部ペディメント、女神スーリス・ミネルヴァの金めっきブロンズ頭部彫刻そして神聖泉からの発掘品などで、そのほかに、教会の祭壇やローマ帝国各地から温泉を訪れた軍人および市民について記した墓碑なども展示されています。

ローマ入浴場 下の階



- 1 神聖泉
- 2 神聖泉からの発掘物
- 3 神殿
- 4 神殿の中庭
- 5 ローマン・ブリテン時代の遺物
- 6 温泉水の放水口
- 7 売店 (小)
- 8 大入浴場 (Great Bath)
- 9 東側入浴場
- 10 西側入浴場

神殿の中庭 (4)

神聖泉を見下ろす通路には、女神スーリス・ミネルヴァへの奉納物、硬貨および呪術語などが展示されています。これらは、1878年および1979～1980年に神聖泉跡から発掘されました。1981年から1983年にかけて発掘されたパンプ・ルームの下部からは、神殿に続く舗装されたローマ式中庭と神殿への階段の一部が発見されました。当初、中庭は屋外にありました。神殿に入ることはできません。また、いけにえを奉げた祭壇の一部が原位置に復元されました。神殿に立っていた女神スーリス・ミネルヴァの等身大彫刻の一部である金めっきブロンズ頭部は、神殿の階段近くに展示されています。

入浴場

神聖泉 (1) は、温泉水用に作られたローマ式貯水池に流出しています。当初、神聖泉は丸型屋根で覆われていましたが、この屋根はローマ軍退去後に神聖泉に陥没してしまいました。1100年頃、ローマ入浴場跡に王の入浴場が建てられました。その後何度も改造され、現存の建物は18世紀から19世紀にかけて造られたものです。オレンジ色の鉄さびは当時のお湯のレベルと考えられます。現在では、ローマ時代のお湯のレベルに保たれています。

大浴場 (8) の熱い鉱泉湯は神聖泉から引いています。大浴場の深さは1.6メートルで、ローマ時代の鉛を張り詰めた平らな底まで全て階段で囲まれています。当初の巨大な石製たる型天井の一部が大浴場のそばに保存されています。入浴者が湯船から離れてくつろいだり話したりするためのアルコーブが両端にしつらえてあります。北側の真中ほどには噴水があります。

東側入浴場 (9) は元来2つの小さなプールから成り、大浴場からお湯を引いていました。350年の間に何度も改造と増築を重ね今日にいたっています。Hypocaust (床下暖房) 用の柱がモザイクで装飾されたコンクリートの床を支えていましたが、一本が現存するのみとなっています。小型の半円形入浴場では、石のベンチに座った入浴者たちが、神聖泉から鉛のパイプで引いてきたお湯に首まで浸かることができました。

西側入浴場 (10) の円形冷水入浴場は、当初は浴室への玄関広間でした。のちに、隣接の暖房室を出た入浴者が冷水でひと泳ぎするための円形プールが追加されました。これらの浴室は東側入浴場と同じくトルコ式スチームバスです。ここでも床暖房の好例を見ることができます。一番最後に見えるのは冷水プールです。

入浴場を出ますと、トイレ、ローマ大浴場ショップ、そしてパンプ・ルームに続きます。パンプ・ルームでは、飲料用温泉水や軽食をお楽しみいただけます。